

第80回国民スポーツ大会（青森2026）宮城県代表選手選考要項

- 1 大会期日：2026年10月15日（木）-19日（月）
- 2 会場：新青森総合運動公園陸上競技場（カクヒログループアスレチックスタジアム）
- 3 種別（種目）及び参加人員
 - (1) 監督2名、選手29名（男子19名以内、女子19名以内）計31名以内で編成し、種別、種目は表1のとおりとする。監督、選手の兼任は1名とし、その場合は参加選手を30名とすることができる。

表1 競技種別・種目一覧

	種別	種目	共通種目	混合種目	
男子	成年	100m 300m 800m 110mH 400mH 3000mSC 走高跳 走幅跳 砲丸投 円盤投 やり投	4×100mR	男女混合 4×400mR	
	少年A	100m 300m 5000m 300mH 5000mW 三段跳 円盤投 ハンマー投 やり投			(共通) 800m 110mH 走高跳 棒高跳
	少年B	100m 3000m 走幅跳 砲丸投			
女子	成年	100m 300m 800m 100mH 400mH 10000mW 走高跳 棒高跳 三段跳 砲丸投 ハンマー投 やり投	4×100mR	男女混合 4×400mR	
	少年A	100m 300m 800m 3000m 300mH 2000mSC 5000mW 三段跳			(共通) 100mH やり投
	少年B	100m 1500m 走幅跳			

(2) 参加は、下記の出場制限によるものとする。

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。

イ 本要項6に定める予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目のみ出場し、その種目の代表となった者は予選会に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ 4×100mRの編成は、男女ともに成年、少年A、少年Bから各1名、残り1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別から選出するものとし、計8名以内で申し込むこと。なお、選手変更については、日本陸上競技連盟規則によるものとする。

- エ 男女混合4×400mRの編成は男女2名ずつとし、合計8名以内で申し込むこと。男女ともに少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。なお、走順は男子-女子-男子-女子とする。
- オ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。
- カ 成年女子10000mWの出場者は、10000mWまたは5000mW、いずれかの予選会を経た者でよい。少年男子A5000mW、少年女子A5000mWの出場者は10000mWまたは3000mW、いずれかの予選を経た者でもよい。
- キ 成年男子3000mSCには、少年男子からもエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年男子または少年男子Aいずれかの1名のみとする。
- ク 成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年女子または少年女子Aいずれかの1名のみとする。
- ケ 成年女子棒高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年女子または少年女子Aいずれかの1名のみとする。
- コ 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。
- サ 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は200m、400mの予選会を経た者でもよい。
- シ 少年男子A300mH・少年女子A300mHの出場者は、200m、300m、400m、400mHのいずれかの予選会を経た者でよい。
- ス 少年女子A2000mSCの出場者は、2000mSCの予選会を経た者のみとする。

4 競技上の規則および方法

2026年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

- (1) 少年男子A300mHのハードルの高さは、0.914mとする。
- (2) 少年男子A円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
- (3) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。
- (4) 少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。
- (5) 少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。
- (6) 少年男子共通110mHのハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14mとする。
- (7) 少年女子A300mHのハードルの高さは、0.762mとする。
- (8) 少年共通100mHのハードルの高さ／ハードル間は、0.838m／8.50mとする。
- (9) 少年女子Aやり投のやりの重さは、600gとする。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

- (1) 監督・選手は、日本陸上競技連盟登録者であること。
 - (2) 参加資格・所属都道府県
- 総則5－(1)(2)に定めるほか、次による。

- ア 日本国籍を有しない者について、学校教育法第1条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女1名以内で参加することができる。
- イ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ3、公認陸上競技コーチ4（以上、JAAF公認コーチ）、または公認陸上競技コーチ1、公認陸上競技コーチ2（以上、JAAF公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。
- ウ ふるさと選手制度については、第80回国民スポーツ大会実施要項総則5（別記1を含む）の規定による。

(3) 選手の年齢制限

- ア 成年の部に参加する競技者は、2008年4月1日以前に生まれた者とする。
- イ 少年Aの部に参加する競技者は、2008年4月2日以降2010年4月1日までに生まれた者とする。
- ウ 少年Bの部に参加する競技者は、2010年4月2日以降に生まれた者とする（ただし、中学生は3年生のみ参加できる）。

6 選考方法

本大会に準じて本要項3に定めた方法により、代表を選考する。予選会および参考競技会を以下に設定し、本要項7に示す選考基準に則り選考する。

【予選会】

- ・国スポ予選会Ⅰ（宮城県春季陸上競技選手権大会）
- ・国スポ予選会Ⅱ（宮城県陸上競技選手権大会）
- ・宮城県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- ・宮城県中学校総合体育大会陸上競技大会
- ・全日本中学校通信陸上競技宮城県大会

【参考競技大会】

- ・日本陸上競技選手権大会（以下、日本選手権）
- ・全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（以下、インターハイ）
- ・日本学生個人陸上競技選手権大会
- ・日本学生陸上競技対抗選手権大会（日本インカレ）
- ・各地域実業団陸上競技選手権大会
- ・各地域学生陸上競技選手権大会（地区インカレ）
- ・東北高等学校陸上競技大会
- ・東北中学校陸上競技大会
- ・全日本中学校陸上競技選手権大会（以下、全中）

7 選考基準

(1) 種別・種目ごとに選考基準および標準記録を設け、優先順位に則り選考する(表2)。ただし、成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300m・少年男子A300mH・少年女子A300mHは別に選考基準を設ける(表3)。

表2 選考基準

種別	成年	少年A・少年共通	少年B
選考基準	1) 日本選手権において入賞する(複数の場合は上位)。 2) 有効期間内に標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目・種別最上位となる。	1) 日本選手権において入賞する(複数の場合は上位)。 2) インターハイにおいて入賞する(複数の場合は上位)。 3) 有効期間内に標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目・種別最上位となる。	有効期間内に標準記録を突破し国スポ予選会Ⅱにおいて種目・種別最上位となる。
有効期間	2026年1月1日～国スポ予選会Ⅱ終了日までの公認記録	2026年1月1日～インターハイ終了日までの公認記録	2026年1月1日～全中終了日までの公認記録

表3 選考基準(300m・300mH)

種別	成年男女300m・少年男女A300m	少年男女A300mH
選考基準	1) 有効期間内に300mにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目・種別最上位となる。 2) 有効期間内に200m・400mにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて200m・400mの種目・種別最上位となる(複数の場合は、予選会および参考競技会の結果から総合的に判断する)。	1) 有効期間内に300mHにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目・種別最上位となる。 2) 有効期間内に400mHにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて400mHの種目・種別最上位となる。
有効期間	種別ごとに表2に準ずる	

(2) リレーに出場する競技者について、リレーの特性を考慮し強化委員会が内定者を決定する(選手団編成上、リレー種目へのエントリーを行わない場合もある)。

(3) 資格記録および予選会、参考競技会の結果から総合的に判断し、強化委員会が内定者を決定する。

※特例措置

国スポ諸規定【トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置】および【国民スポーツ大会予選会免除に関する要項】に定められている条件を満たす競技者は予選会が免除される(<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid188.html#04>)。別紙に【第80回国民スポーツ大会(青森県)における予選会免除対象大会】を示す。

8 標準記録（別紙1）

9 選手決定の予定

- 7月 5日（日） 第1次選考会議
- 中旬（予定） 第1次内定選手の通知（宮城陸上競技協会HP）
- 8月 7日（金） 第2次選考会議
- 上旬（予定） 第2次内定選手の通知（宮城陸上競技協会HP）
- 23日（日） 最終選考会議
- 9月 1日（火） 選手団発表（宮城陸上競技協会HP）

10 その他

- （1）選考対象選手と強化委員会が判断をした競技者に対して、個人調書の作成を依頼する。個人調書の作成をもって、参加意思があるものと判断する。
- （2）選考会議の結果により、内定となる競技者（所属先）には、8月23日（日）までに強化委員会から連絡があるが、それ以外の競技者（個人調書作成者）への連絡は行わないので下記連絡先へ問い合わせるか、宮城陸上競技協会HPにて確認すること。
- （3）怪我などのため、本大会で競技力が発揮できないような事態が生じた場合は代表を取り消す場合がある。
- （4）代表へ選出された競技者は、合宿・練習会に原則参加すること。

問合せ先

一般財団法人宮城陸上競技協会強化委員会
強化委員長 宮崎利勝(仙台大学)
Tel: 0224-55-1205(直通)
E-mail: ts-miyazaki@sendai-u.ac.jp